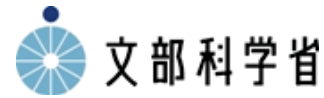


平成24年度の連携テーマ

- 省エネ・省資源に大きな効果が期待できるテーマを選定。具体的には、電力消費の過半を占めるモーターや電力消費の急増が予想されるサーバー、エネルギー多消費産業である化学産業に着目。
- 併せて、復興基本方針に基づき、**福島**の再生可能エネルギー拠点について連携。



高効率モーター用磁性材料技術開発

- H24FY予算額20億円、事業期間10年
- レアアースフリーでネオジム磁石を超える磁石を開発し、**損失を25%削減する高性能モーター**を実現。

ガバニング
ボード

元素戦略プロジェクト<研究拠点形成型>

- H24FY予算額22.5億円
- 我が国の産業競争力に直結する①磁石材料②触媒・電池材料③電子材料④構造材料の4つの材料領域において、**希少元素を用いない全く新しい材料の開発**を目指し、最先端の物理・化学理論を駆使して機能設計から部材試作までを一貫して実施。

グリーン・サステイナブルケミカルプロセス基盤技術開発



- H24FY予算額16.5億円、事業期間10年
- **CO2と水と太陽光からエチレン等の基幹化学品を製造**するために必要な革新的触媒等を開発。

超低消費電力型光エレクトロニクス実装システム技術開発

- H24FY予算額16.5億円、事業期間10年
- 光・電子ハイブリッド回路技術を確立し、**サーバー等の小型・高速化、省電力化(現状比3割減)**を実現。

ガバニング
ボード

最先端研究開発支援プログラム (FIRST)

- フォトニクス・エレクトロニクス融合システム基盤技術開発
- H24FY予算額60億円  
- フォトニクスとエレクトロニクスの融合に向けた革新的基盤技術の研究開発を実施し、**「オンチップデータセンタ」**を実現。

福島県再生可能エネルギー研究開発拠点の整備等

- H23FY第3次補正予算額101億円
- 福島県において、**再生可能エネルギー関連技術の研究開発拠点**を整備。

ガバニング
ボード

東北復興次世代エネルギー研究開発プロジェクト

- H24FY予算額20億円
- エネルギー分野のトップレベルの研究者の参画を得て、**超高効率太陽電池に関する研究開発**を推進。

平成25年度の連携に向けたプロセス

- 第3回～第5回の合同検討会において、平成25年度の両省連携テーマを検討。
- 未来開拓研究の候補をシンポジウム（6月15日）において一般向けに公表。

第3回合同検討会 3月27日

議題：平成25年度予算要求に向けた連携について（自由討議）

第4回合同検討会 5月18日

議題：平成25年度予算要求に向けた連携について（テーマの選定）

シンポジウム 6月15日

第5回合同検討会 9月5日

議題：平成25年度予算要求に向けた連携について（連携プロジェクトの確認）

現在

連携の具体化のため、テーマごとにWGを設置